



SERVE TO CHANGE LIVES

# 脇町ロータリークラブ

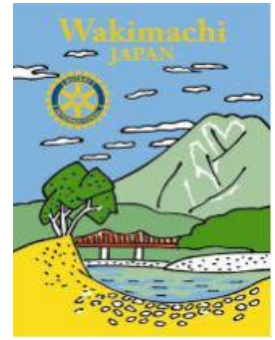
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2022年4月21日 木曜日

第27回例会 No.2784

会員総数: 42名 修正出席率: 73.81%



## ◎メイクアップ

無

## ◎会長挨拶

北川会長

みなさん、こんにちは。

昨日、須藤幹事と毎年恒例となっている美馬市社協とつるぎ町社協に年末のオークションの売上の一部を寄付してきました。

おかげさまで昨年のオークションでは、売上が16万円以上あり会負担することなく寄付することができました。

寄付金は、善意銀行で使用して頂けるそうです。

善意銀行とは、昭和37（1962）年に徳島県で創設された制度で、銀行のように寄付金品と人（ボランティア）を預り、必要に応じて配分や派遣をするという、当時としては独創的な発想と先駆的な方法が大きな反響を呼び全国に広がったそうです。

寄付した善意を効果的に社会福祉に活用し地域社会の福祉増進に資することを目的に払い出しを行っています。その窓口のことを「善意銀行」と呼ぶそうです。

社協の担当者の話を伺うと継続して続けて行くことが大切だと思いました。

## ◎幹事報告

須藤幹事

到着週報

到着書類

その他

● 鴨島RC、阿波池田RC、美馬RC、洲本RC

● 地区大会記録

● 新入会員 藤原 義浩 会員入会

● 4月28日の例会が10時より小星公園の清掃活動となっています。ご参加よろしくお願いたします。（雨天時は、近くの集会所で例会を行います）

私もロータリーに入会して10年になります。毎年卓話の機会をいただくのですが、2年目くらいからやはりロータリーのことについて学ばなければならないと感じロータリーについて毎回お話をさせていただいています。これは私にとってもロータリーを学ぶいい機会になっております。ここ最近新入会員の方も入会されたので話を聞いていただいて少しでも理解してもらえたらなと思います。本日のテーマは、ロータリークラブとは何かです。1905年にロータリーは発足しています。ロータリークラブは、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブであります。その構成員のことをロータリアンと言います。最初のクラブが例会場所を輪番（ローテーション）で提供しあったことから「ロータリー」の名がつけました。輪番・回転にちなみ、6本スポークの歯車がシンボルマークになっています。「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブで、200以上の国と地域に33000近くのクラブがあり、会員数は140万人以上とされています。職業奉仕とそこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とします。基本的には「I serve:私は奉仕する」、クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であり、個人のみならずクラブ単位や国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行っていきます。歴史は、1905年米国イリノイ州シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアを基に3人の友人と語りあって発足させたものです。ポールは、同業種間の親睦の難しさを痛感しておいたので、競争相手とならない友人の輪をつくりだそうと、会員を1業種1人に制限しました。これが、ロータリー職業分類制度の始まりでした。職業分類によって、他会員から商売上の利益を得ることを目的として入会したような人でも、クラブ内の暖かい雰囲気の中で、利益よりもっと満足できるもの、すなわち「親睦」を乱すことができるようになりました。ロータリーの親睦は、単に会員同士が仲良くするというだけでなく、奉仕活動の基礎活動となるもので、親睦と奉仕の融合とされています。また、職業分類によって、会員は、クラブにたいして自己の職業の代表者という責務を負うことになり、また、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになりました。この2つの責務が職業奉仕の基礎となりました。ここで、ロータリーの1番の目的 i serveについてですが、サービスの動詞形がサーブとなります。人や地域にそこにニーズがあり、それを満たしていこうという行為がサーブとなります。本当にその人が求めていることにサーブすることが1番大切だとされています。ロータリーの目的は、事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことです。1つは、知り合いを広めることによって奉仕の機会とするクラブ奉仕、2つ目は高い倫理観を持って、社会に奉仕する職業奉仕、3つ目は、ロータリアン1人1人が個人として奉仕の理念を実践する社会奉仕、4つ目が、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界のネットワークを通じて国際理解、親善、平和を推進する国際奉仕です。次に四つのテストですが、本当にいい言葉だなと思います。ロータリアンが日常の商取引・産業活動における言行の規準です。まず真実かどうかという言葉ですが、本来なら事実かどうかという言葉が適切であります。真実というのは、人の心を通じたアナログ的な判定であるのに対して、事実とはその事実があったのか、なかったのかの二者択一を迫るデジタル的判定ですからここでは事実かどうかという言葉を用いるのが適切だと記載されています。次にみんなに公平かですが、公平とは平等分配を意味するので、公平でなく公正と訳すべきだと記載されています。続いて行為と友情を

深めるかですが、商売上の信用とか評判を表すので、店の信用を高めると同時によりよい人間関係を築き上げて、取引先を増やすかどうかを問うものなので、信用を高め、取引先を増やすかと訳すべきと記載されています。最後に、みんなのためになるかどうかですが、儲けを表す言葉が入っており、買い手だけが、売り手だけが儲かったのでは、公正な取引とは言えません。なので、すべての取引先に利益をもたらすかと訳すべきと記載されています。あとロータリーには2つの公式標語があります。1つは、Service Above Self「超我の奉仕」利己的でないボランティア奉仕の哲学を最もよく言い表しているとの理由からです。2つ目が、One Profits Most Who Serves Best「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」経営とは人間的な奉仕の科学で、その仲間に最もよく奉仕するものが最も多く報いられるとしています。これは、ロータリーの人生哲学であるとされています。利己的な欲求と義務、およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものです。ですからこれはロータリーにとって必要不可欠な標語です。ホルガ・クナーク2020・2021国際ロータリー会長は、ロータリーは機械の扉を開く。シェカール・メータ202・2022年度会長は、奉仕しようみんなの人生を豊にするために。と掲げています。年によって考え方もかなり変わっています。そして、北川会長が例会の充実、会員の増強、60周年を見据えて準備していきましょうと掲げています。本当に、こういった事態の中で北川会長は本当に素晴らしいなと思っています。私も北川会長を見習ってやっていけたらと思っています。簡単ではありますが、ご清聴ありがとうございました。

## ◎ニコニコボックス

一井会員

次回例会	2022年4月28日(木) 10:00より 小星公園(ロータリーの森)
卓話	無

☆次の会員は例会欠席でした。メイクアップして下さい。

上柿会員、木下会員、黒川会員、郷司会員、千葉会員、豊島会員、友成会員、秦会員、藤村会員、南善幸会員、吉野会員

☆次回例会の出欠を小野出席委員長まで連絡してください。